

自治体向け道路管理サービスの提供開始
～ A I 画像解析技術を活用～

2022年10月25日
関西電力株式会社

当社は、当社のグループ会社である株式会社KANSOテクノス（以下、KANSOテクノス）、日本電気株式会社（以下、NEC）の技術、サービス※¹を活用し、道路管理サービスの提供※²を開始しました。

高度経済成長期に整備された道路は高経年化が進んでおり、適切な維持管理を行うために定期的な点検・修繕が必要とされています。

一方、道路の点検・修繕業務は、自治体職員の目視確認や専用の点検車両により実施されており、効率面・コスト面が課題となっています。

これらの課題を解決するため、当社は、KANSOテクノス、NECの技術、サービス※¹を活用して、合理的な道路管理サービスを提供します。

具体的には、当社グループや自治体、宅配便事業者等の車両にドライブレコーダーを搭載して、専用の点検車両を使うことなく日常業務の傍らで路面データを効率よく収集します。それら収集データを、当社グループの土木インフラ保全技術、NECのA I 画像解析技術※²を活用して、自治体におけるタイムリーな道路劣化状況の把握と舗装修繕計画の策定をサポートします。

※¹ ドライブレコーダーで記録した映像や加速度情報をA I で分析することで、路面のひび割れ状況や平坦性(I R I)などを効率的に調査できる道路劣化A I 診断サービス「くるみえ for Cities」

※² 関西エリアと、東海・北陸エリアの一部

以 上

別 紙：本サービスの概要

本サービスの提供に関するお問い合わせ先は[こちら](#)
関西電力株式会社 ソリューション本部 開発部門 社会インフラ事業グループ
(mail: kanden-syakai-infra@a2.kepco.co.jp)

別紙



「道路管理サービス」の概要について

2022年10月25日

関西電力株式会社

道路を取り巻く現状と課題

【現状】

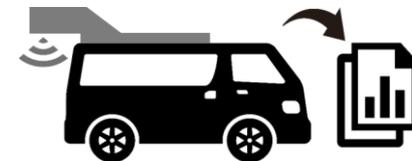
○道路は市民生活や地域経済を支える重要な社会インフラ。
その維持管理は安全・安心なまちづくりを進める上でも重要。



○道路状況を確認するための自治体の対応

▽職員による日常パトロール（目視）の実施

▽専用の点検車両による路面調査を実施し、舗装修繕計画を策定



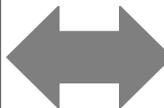
【課題】

○道路の高経年化の進行と予算減少・人員不足という、相反する課題が発生

・道路の多くは高度経済成長期に整備
⇒今後、急速に高経年化が加速



道路インフラの老朽化



・少子高齢化や人口減少
⇒道路の維持管理に割けるリソースの減少



維持管理予算の減少



技術者・労働力不足



高経年化の進む道路の長寿命化を図るため、
継続的かつ効率的に道路の健全性を保守・管理する手法が必要

新サービスの概要

当社グループのインフラ保全技術、NECの道路劣化AI診断技術を活用して道路管理データの収集から解析結果の見える化、舗装修繕計画立案まで一気通貫で提供。

データ収集

関西電力グループや自治体、配送事業者等の車両にドラレコを搭載し、専用の点検車両を使うことなく、日常業務の傍らで路面を撮影



“いつのまにか” データ解析

NECのAIによる画像認識と加速度分析の組み合わせで、道路の劣化状態を解析



路面のひび割れ率や平坦性、ポットホール(窪み)を自動解析

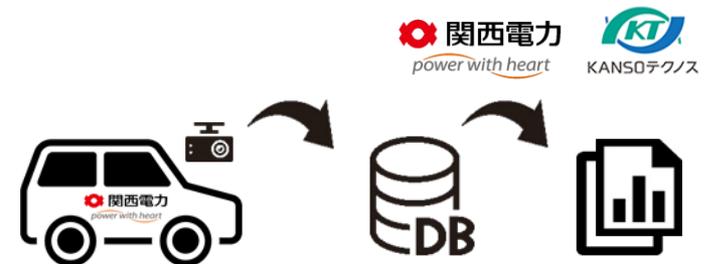
“いつのまにか” 見える化

解析結果は地図に自動反映
WEBで簡単に確認可能



計画策定

関西電力グループ(関西電力、KANSOテクノス)がインフラ保全技術を活かし、舗装修繕計画を立案

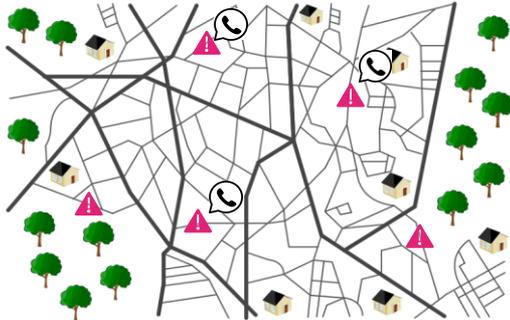


導入メリット

Before

1

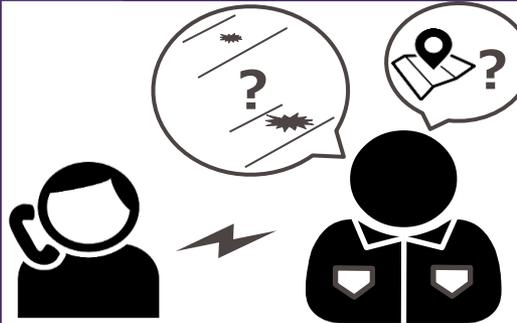
住民サービス向上



住民からの通報に基づきポットホールを補修している

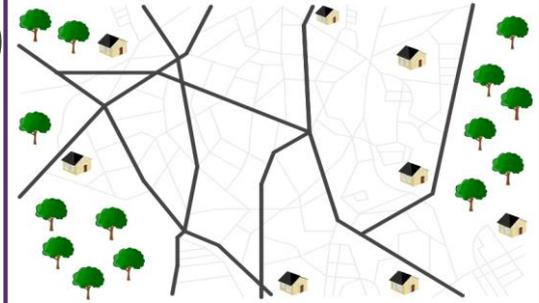
2

現場作業の効率化



住民からの通報内容だけではポットホールの位置や大きさ等の現場状況がわかりにくい。

3

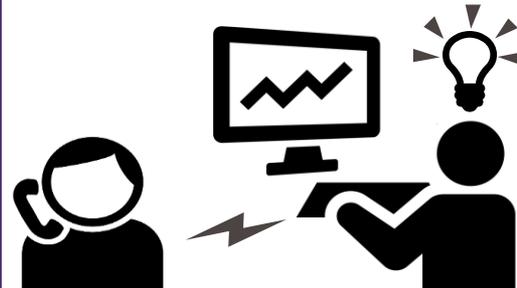
経費削減
(調査範囲の拡大)

予算都合上、幹線道路しか路面性状調査を実施できていない。

After



網羅的にポットホールが検知でき、**早期かつ効率的に補修**することでより安全な道路を提供できる。長期的には**住民からの通報を減らす**ことができる。



自席のPCから**最新の現場状況**を確認することができ、何度も現場に行く手間が不要となる。



同等の予算以下で生活道路を含めた広範囲な定量的調査が可能。**総合的な舗装修繕計画**を立案可能。

各社の概要と役割分担

関西電力株式会社		 power with heart
会社設立	1951年5月1日	
代表	代表執行役社長 森 望	
所在地	大阪市北区中之島3丁目6番16号	
役割	自治体への提案・調整 自治体からの意見・要望の集約	

株式会社 KANSOテクノス		 KANSOテクノス
会社設立	1974年1月17日 (2020年7月 商号変更)	
代表	代表取締役 大石 富彦	
所在地	大阪府中央区安土町1丁目3番5号	
役割	画像診断結果の評価・分析 舗装修繕計画策定	

日本電気株式会社		
会社設立	1899年7月17日	
代表	執行役員社長 兼 CEO 森田 隆之	
所在地	東京都港区芝五丁目7番1号	
役割	道路劣化AI診断サービス“くるみえ for Cities”の提供・改良の検討	